

# 運送業界の健康支援を生きがいに

## 78 健診後のチェックで事故防止

健康起因の事故対策は、定期健康診断結果のチェックから始

まることが多いですが、つまり、健診結果をおろそかにしては、いつまでも事故が減らない、むしろ今後はドライバーの高齢化等により増加することが予想されます。

ところで、秋健診の会社では健診結果がそろった頃かと思いますが、どのように活用していますか。そこで『労働安全衛生』

法に基づく定期健康診断の活用ポイントを、簡単なチェック項目にしてみました。

- ① 健診結果を誰がどこに保管していますか。
- ② 受診有無のチェックと、未受診者への受診勧奨をしていますか。
- ③ 拠点別と全社の受診率を出していますか。

④ 健診結果を本人に通知していますか。

⑤ 再検査・精密検査・受診が必要な人に、その指示をしていますか。そして、受診後は結果報告を受けていますか。

⑥ 不明な点を産業医や健診機関に確認して、意見を求めていますか。

⑦ 結果を踏まえて、業務の再検討や配置転換等の安全配慮を行っていますか。

さて、御社はどこまで達成していますか。実は健診を受ける目的は、⑦の安全配慮にあります。決して受けることだけが目的ではありません。さらに、健診結果や病

気の問題点は総務担当者だけでなく、運行管理者も認識しておき、点呼時の参考にしなければなりません。

それと並行して、運転業務と深く関わる病気の知識や、コントロールの方法については定期的な社内教育が必要になります。これらの推進方法は安全衛生委員会

で決議し、現場に落とし込んでいくことをお薦めします。しかし、現実問題として複数の医療機関で受診している多くの事業者の場合は、(健診結果のフォーマットや基準数値のバラつき等があるため)とてもフォローしきれない、「お手上げ状態」ではないでしょうか。また、⑤からの項目については、ある程度の専門的な知識も求められますね。

### ■健診後のサポートシステム

OCHISのサービス事業の中には、各企業から預かった健診結果を独自のデータベースに落とし込み、保健師が一連で専門的なサポートを行う、フォーマット事業があります。このようなサービスをうまく活用して、管理者の負担を軽減されてはいかがでしょうか。

健診結果の迅速な対応と充実したフォローアップで、来年もご安全に！(次回は1月16日号に掲載)



《全日本トラック協会・大阪府トラック協会 SAS 検査受託機関》

NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

理事 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>